



# 竣工祝賀会を開催

あきる野市の原小宮土地区画整理事業が完成し5日、東京サマーランド内のホールで「竣工祝賀会」が行われた。式典には日井孝あきる野市長、林田武都議、東京都土地区画整理連合会の渋谷守生会長ら来賓合わせ約90

人が出席した。1987(昭和62)年「緑多い原小宮地域を乱開発から守ろう」と地元有志らが立ちあがり、92年10月、土地区画整理組合設立準備会を発足。94年に東京都が設立を認可した。以来、15年の歳月

と約54億円を投じ16・8分の広大な地区を区画整理する事業が完了し、昨年2月には都に組合の解

中心部から北東方向約1キロに位置し、約7割が畑作の農地だった。同事業で道路や公園などの都市基盤施設が総合的に整備され、住宅地が整備された。周辺には秋留台公園や草花公園がある。事業施行前は120世帯で建物150棟、公共用地率は8%だった。秋多3・4・5号平沢井井、秋多3・4・16号秋川南北



## People トップの横顔

昨年、12月30日の年終、電子機器製造業・双明通信機製作所本社(青梅市滝ノ上町)の専務取締役として、香港から帰国したばかりの荒井英樹社長を囲んで活発な会議が行われていた。荒井社長は親会社である富士プリント工業(八王子市)の専務取締役として、香港法人の総経理を兼任。一年の大半を香港で過ごし、帰国しても多忙な毎日を送っている。

中国に多く滞在しているため「本社を空けることが多く、私一人でも事業をやっているといけないが、同じ志を持った社員に安心して任せてある」と、社員一人ひとりへの信頼感も一層だ。

1954(昭和29)年に目黒区で創業した同社は、AV、デジタ、FAMEカトロ機器からさまざまな製品を製造している。売上78%を占めて、お客さまの6割が「一緒に仕事をしてくれよう」となる。お客さまから可愛がられる会社でなければいけないと話す。訪問時に茶を出してくれた従業員から「おはようございます」と元気なあいさつに驚いた。

「製造業のイメージは暗い、弊社は『製造業はサービス業』だ」と力説する荒井社長。お客さまに感動を与え、望んでいる以上のプレゼンテーションをすることによって、それ以上の価値を感じていただければ、同社の誠実さが伝わってくる。

2010年の行動指針は「変態」。一見びっくりするような指針だが、ダーウィンの進化論からとったもので、「変化する環境に



「トップが暗いとダメ」と話す荒井社長  
双明通信機製作所本社工場

## 双明通信機製作所 荒井 英樹 社長(45)

のシステム設計から部品調達、製造、板金加工、調整・検査まで一括して請け負っているアッセンブリ・メーカーだ。もともと親会社・富士プリントの取引先としてプリント基板などを扱っていた。98年青梅に移転、06年12月富士プリントの完全子会社となった。現在は、活気溢れる社内のみならず、既存顧客の2社だけ

「製造業のイメージは暗い、弊社は『製造業はサービス業』だ」と力説する荒井社長。お客さまに感動を与え、望んでいる以上のプレゼンテーションをすることによって、それ以上の価値を感じていただければ、同社の誠実さが伝わってくる。

2010年の行動指針は「変態」。一見びっくりするような指針だが、ダーウィンの進化論からとったもので、「変化する環境に

### 笑顔溢れる会社

魅力いっぱい、いたずらっ子のような笑顔を見せる(沖永知謙)

■有限会社双明通信機製作所  
(青梅市滝ノ上町12-42-1) 電子機器製造業。設計・材料調達・組立・検査・ケース・インシの設計、製作。1954(昭和29)年に目黒区で創業。2006年に富士プリント工業に全株式を売却、完全子会社化。資本金1千万円、年商(今期予測)1億9千万円。  
http://www.so-mi.co.jp/about.html  
042623-230611

